

て大會や本部の政策を明瞭に知らしめる事か困難に成つた。斯くて然らば本部と工場支部との中間にも、工場支部相互の連絡と本部と工場支部の連絡の補助機関として、新しい地域支部を設け、従来工場支部は工場分會日に改めた。然し、我々の考へは日さつたあつたに拘らず、この組織を採用する時には可なりなる不同意があつた。例へば、

(一) 我等は労働組合組織の單位が一工場であることよく知つてゐた。一工場支部と次が工場分會の組織を採用したる之の証明である。然るに、同一地域に於て、工場分會が数個組織された場合、従来如く本部が各支部では到底之等の工場分會を保護し、密接な連絡とこのことが不可能に成つた。そこで支部と更にその中間に組織したのであるが、

之の支部と本部とは何等の關係を、工場分會の自由意志に依る組織の小九つを成り、而してそれが決議機関を有するものである、工場分會の意志は取も直接に支部には反映されてゐたが、従つて工場分會と本部との關係は支部を通じての關係になつた。斯くて二面に於て、地域支部は實際上一個の地域的組合或は支部聯合を形造り、組合は地域的組合の聯合体、或は支部聯合の聯合体の體があつた。而も他面に於て我等は能くして集中主義をとつた。時と時は支部は工場分會に代つて組織の一單位となつてゐた。

(二) 同一地域に依る組合員五十名以上と建する場合は支部を組織するを規定し、若し一工場に於て組合員五十名以上を有すれば、それは(工場)支部を作り得るのであるが、斯くて出来ず支部は一工場全体の意思を發表せしむべき組合員

は大會を備へる権能がなかつた。

以上より如く工場分會及支部の組織に就いて、我々の考へが足りなかつた。工場分會は労働組合の組織の基礎單位でなければならぬ。組合に加盟する單位は個人であるが、組合の重要任務である日常闘争の行はれるのは工場である。従つて、一工場に於ける組合員は不断に之を一單位に組織し置く必要があり、又、組合の全うの機関と直接に有機械の關係を有せざるべからぬ。従つて工場分會は支部に属し、支部を通じて本部と關係するのではなくして、本部直屬しなければならぬ。

組合は組合員の地域的に集合したものでなく、工場分會の合同したものであつた以上、地域的支部が組合の組織單位であるべきならぬ。地域支部が又支部聯合や地域的組合に類

似してはならぬのは勿論である。

次に支部は本部から独立した機関であつてはならぬ。むしろ本部に抱括せられた地方機関でなければならぬ。本部とは大會に於て任命された執行機関であるが、組合の総たる仕事から執行委員の會のみによつて行はれる事は不可能であるが、工場分會の増加とその地域の拡大せる今日、本部が各工場分會と密接な連絡をとるためには、各地域に本部の出張所としての支部が必要である。従つて、従来地域支部を独立せしむず、本部の地方機関として抱括しなければならぬ。

従来支部が地域的活動をすすめるための財政は、その所屬せる分會の組合員數に比例せるものであつたが、組織の未